



『法を学ぶ人のための文章作法』

井田 良ほか
(有斐閣 本体¥1900)



『現代行政法の基礎理論
(現代行政法講座I)』

現代行政法講座編集委員会ほか編
(日本評論社 本体¥4900)



『その「つぶやき」は犯罪です』

神田芳明ほか
(新潮社 本体¥700)

- 4位 『条文の読み方』
法制執務用語研究会(有斐閣 本体¥800)
- 5位 『独占禁止法(新版)』
村上政博(岩波書店 本体¥840)
- 6位 『行政法(第5版)』
櫻井敬子=橋本博之(弘文堂 本体¥3300)
- 7位 『改訂 Q&A 公文書管理法』
岡本信一=植草泰彦(ぎょうせい 本体¥2380)
- 8位 『「ありよう」で捉える社会保障法』
久塚純一(成文堂 本体¥2900)
- 9位 『法令作成の常識』
林 修三(日本評論社 本体¥1200)
- 10位 『日本国憲法の誕生』
古関彰一(岩波書店 本体¥1400)

書き方や読み方も大事。

神谷哲也

法律書担当



・今月のランキング

ランキングは注目の新刊『法を学ぶ人のための文章作法』が1位。数ある新刊の中でも突出して多くの方が手に取ってくれました。法律文書は書き方がかなり独特なものですので、慣れていない人にも、慣れていない人にも読んでほしいおすすめの本1冊です。

4位の『条文の読み方』は、大学生の自主勉強に六法と一緒に買ってきました。

・注目商品

『AI時代の働き方と法』(大内伸哉, 弘文堂 本体¥2000)が個人的には注目の書籍。最近よく聞くようになった「AI」。一昔前とは比較にならないくらい発展し、私たちが常に驚かせていますが、まだまだ身近なものとは感じられません。しかし、AIの社会進出はすぐに訪れるかもしれません。それによって法律はどのよう

な変化が必要か、どう対処していくか考えさせられる1冊です。

・店員から

早稲田大学生協コーププラザブックセンターは、今年2月に法律書の棚のレイアウト変更を行いました。専門書は専門書、試験本は試験本とより一層わかりやすいレイアウトになり、今まで以上に書籍が見やすく、見つけやすくなりました。これからも利用者の方が欲しい本、見たい本を充実させ満足できるお店にするように頑張っていきますので、ぜひ来店いただきご意見ご要望をどしどしお願いしますようよろしくお願いいたします。

